

【十二月の言葉（令和元年）】

ひま

「その内に、暇ができたらネ・・・」
と言ってる内に 年は暮れ 一生は
終わる。

暮れになりますと毎年のこととは言え、月日の経つのが早いことを嫌いやでも実感させられます。

「あなたはあと三ヶ月の命です・・・」と宣告されたら、誰だって「どうやって残りの日々を過ごそうか」と途方に暮れます。

しかし、人間はみんな、生まれた瞬間から「残り〇年と何カ月かの命」という宣告を受けているのです。余命三ヶ月の間に偉大なことを成し遂げて死にゆく人もいれば、元気なのに何年もボーっと過ごす人もいます。

来年のことは分からない、来月来週、イヤ明日何が起るのかもわからないからこそ、今日を精一杯に生きなくてはいけません。一人ひとりに与えられた役割をまっとうしていかなければならないのです。